

令和5年3月20日  
北九州空港機能強化・利用促進特別委員会  
(港湾空港局空港企画課)

目次

- 1 国際チャーター便の運航について(報告)
- 2 ユーピーエス・ジャパンの国際貨物定期便の就航について(報告)
- 3 滑走路3,000m化の早期実現等機能強化について(報告)

## 令和4年度 北九州空港における国際チャーター便の運航について(報告)

新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い、北九州空港の国際線については、令和2年3月11日以降全便運休となっていたが、昨年10月の地方空港における水際対策緩和を受け、就航に向けて航空会社との協議を進める一方、空港での受け入れ準備について、検疫所など関係機関と協議を行ってきた。

その結果、令和4年度、下記のチャーター便の就航が実現した。

### 1 北九州－台北線 ※台湾出発のみを対象としたインバウンドチャーター

#### (1)就航会社

株式会社スターフライヤー

(コロナ禍前に定期便を1日1便運航していた実績有〈H30.10.28～R2.3.10〉)

#### (2)就航時期

令和5年1月15日～令和5年2月13日

#### (3)就航便数

6往復

#### (4)タイムスケジュール

北九州着 5：50 (1/15 1/20 1/25 1/30 2/4 2/9) ※台湾発2：30

北九州発 23：30 (1/19 1/24 1/29 2/3 2/8 2/13) ※台湾着1：00

#### (5)乗客総数

計884名(座席数計900席)

### 2 北九州－ソウル(仁川)線 ※ソウル(仁川)出発のみを対象としたインバウンドチャーター

#### (1)就航会社

株式会社ジンエアー

(コロナ禍前に定期便を最大1日2便(運休直前は週3便)運航していた実績有  
〈H28.12.13～R2.3.6〉)

#### (2)就航時期

令和5年2月24日、2月27日

#### (3)就航便数

1往復

#### (4)タイムスケジュール

北九州着 11：35 (2/24) ※ソウル(仁川)発 10：05

北九州発 12：55 (2/27) ※ソウル(仁川)着 14：30

#### (5)乗客総数

183名(座席数189席)

### 3 歓迎イベントの開催

北九州－台北線の初便到着時(1月15日)及び北九州－ソウル(仁川)線の到着時(2月24日)には、空港到着ロビーにて歓迎イベントを実施し、自治体職員や空港関係者がお客様をお出迎えした。

【台北線初便到着時の様子】



【ソウル(仁川)線到着時の様子】



### 4 今後の国際線の見通しについて

現在、韓国等の定期便について、今年上半期中（～6月30日）の就航を目指し、準備を進めているところである。

## ユーピーエス・ジャパンの国際貨物定期便の就航について(報告)

ユーピーエス・ジャパン株式会社が北九州空港へ国際貨物定期便を新規就航、初日の令和5年2月20日にセレモニー及び初荷式を行った。

### 1 事業会社

ユーピーエス・ジャパン株式会社

- ✚ UPS は世界最大級のインテグレーター※として国際小口貨物を取扱う輸送会社。
- ✚ 米国を拠点に、アジア域内では中国・深圳国際空港をハブ空港として世界各地に路線を運航。
- ✚ 豊富な国際ネットワークを活用し、九州地方のビジネスを最短1日から3日で世界220以上の国・地域と結ぶ。
- ✚ 日本国内では成田国際空港と関西国際空港に就航中。

※国際貨物輸送において、自社で貨物専用機を保有し集荷から配達まで、国際複合一貫輸送を行う物流事業者を一般的に「インテグレーター」と呼ぶ。

### 2 運航概要

- (1) 運航開始日 2023年(令和5年)2月20日(月)
- (2) 運航頻度 毎週月曜日～金曜日(週5便)
- (3) 運航ルート 深圳国際空港 ⇄ 関西国際空港 ⇄ **北九州空港**  
(10:35着/20:10発)
- (4) 運航機材 ボーイング767-300ERF型機(最大貨物搭載重量:約50トン)  
※コンテナ積載量29台(メインデッキ22台・ローワーデッキ9台)

### 3 初便就航セレモニー・初荷式

#### (1) 開催概要

令和5年2月20日(月)午後、報道関係者向けの歓迎放水を実施した後、旅客ターミナルビル2階で初便就航セレモニーを開催、初荷を貨物機に搭載する初荷式を貨物用スポットで執り行った。

#### (2) 当日の参列者

ユーピーエス・ジャパン(株)代表取締役社長、福岡県副知事、北九州市西田副市长、苅田町長、在福岡米国領事館首席領事、北九州空港長、門司税関長、北九州エアターミナル(株)代表取締役社長、UPSアジア太平洋地域・北アジア地区プレジデント他



# 滑走路3,000m化の早期実現等機能強化について（報告）

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和5年2月28日

国土交通省

## 令和5年度予算に向けた新規事業採択時評価手続きの着手について

国土交通省では、令和5年度予算に向けて、新規事業採択時評価の手続きに着手し、地方負担の負担者である都道府県等への意見聴取を開始します。

国土交通省では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、新規事業採択時評価を実施することとしております。

今般、令和5年度予算に向けて、別紙に掲げる新規事業候補箇所について、地方負担の負担者である都道府県等への意見聴取を開始し、新規事業採択時評価の手続きに着手しましたので、お知らせいたします。

今後、都道府県等の他に学識経験者等の第三者から構成される委員会等の意見も聴き、評価結果をとりまとめる予定です。

※なお、当該発表は、令和5年度予算における新規事業の採択可否をお知らせするものではありません。

（添付資料）

- 別紙 新規事業化候補箇所等一覧

（事業評価制度について）

<https://www.mlit.go.jp/tec/hyouka/public/index.html>

## 【河川事業】

事業名	都道府県等
とねがわ えどがわ 利根川・江戸川直轄河川改修事業(田中調節池)	茨城県・群馬県・ 埼玉県・千葉県・ 東京都
えどがわ 江戸川特定構造物改築事業(江戸川水閘門)	茨城県・群馬県・ 埼玉県・千葉県・ 東京都
たかつがわ 高津川総合水系環境整備事業	島根県
おおいたがわ 大分川総合水系環境整備事業	大分県

## 【道路事業】

事業名	都道府県等
いず じゆうかん 一般国道414号 伊豆縦貫自動車道	静岡県
あまぎとうげ つきがせ かやの 天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)	静岡県
さんいん ますだ くしろ たかつ 一般国道9号 山陰自動車道 益田道路(久城～高津)	島根県
さんいん みすみ ながと 一般国道191号 山陰自動車道 三隅・長門道路	山口県
すわ 一般国道20号 諏訪バイパス	長野県
いいたみなみ 一般国道153号 飯田南バイパス	長野県
さいじょう しも みなが はちほんまつ 一般国道2号 西条バイパス(下三永～八本松)	広島県
ひろかわ やめ 一般国道3号 広川八女バイパス	福岡県
あらお 一般国道208号 荒尾道路	熊本県
すみよし 一般国道10号 住吉道路	宮崎県

## 【港湾整備事業】

事業名	都道府県等
にいがたこう ひがしこう みなみ とうちく 新潟港東港区南ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業	新潟県
つるがこう まりやまみなみちく 敦賀港鞠山南地区複合一貫輸送ターミナル整備事業	福井県
なはこう しんこう とうちく 那覇港新港ふ頭地区ふ頭再編整備事業	那覇港管理組合

## 【空港整備事業】

事業名	都道府県等
きたきゅうしゅう 北九州空港滑走路延長事業	福岡県

令和5年3月6日  
航空局近畿圏・中部圏空港課  
航空局空港計画課

### 交通政策審議会航空分科会事業評価小委員会の開催について

今般、中部国際空港の滑走路増設の整備に係る計画段階評価及び北九州空港の滑走路延長の整備に係る新規事業採択時評価に関する審議を行うため、下記のとおり交通政策審議会航空分科会事業評価小委員会を開催することとしましたので、お知らせします。

日 時 令和5年3月9日（木）13：00～15：00

形 式 WEB形式と対面形式の併用（場所：中央合同庁舎第3号館8階特別会議室）

委 員 別紙1のとおり

議 題 ○中部国際空港滑走路増設事業における計画段階評価について  
○北九州空港滑走路延長事業における新規事業採択時評価について

#### その他

○本会議は別紙2の要領で報道関係者に公開いたします。

※カメラ撮影は、会議の冒頭のみ可能とさせていただきます。

（詳細は別紙2をご参照ください。）

○会議資料及び議事録は、後日、国土交通省ホームページにて公開いたします。

【お問合せ先】 航空局航空ネットワーク部  
近畿圏・中部圏空港課 吉富、清水  
電話 代表 03-5253-8111（内線 49-633、49-639）  
直通 03-5253-8613

航空局航空ネットワーク部  
空港計画課 畔上、辻本  
電話 代表 03-5253-8111（内線 49-246、49-222）  
直通 03-5253-8718

「交通政策審議会航空分科会事業評価小委員会」

委員名簿

委員（50音順、敬称略、◎委員長）

加藤 一誠	慶應義塾大学商学部教授
加藤 浩徳	東京大学大学院工学系研究科教授
轟 朝幸	日本大学理工学部交通システム工学科教授
野田 由美子	ヴェオリア・ジャパン株式会社代表取締役会長
◎屋井 鉄雄	東京工業大学副学長 環境・社会理工学院教授
山内 弘隆	武蔵野大学特任教授、一橋大学名誉教授